

県民の皆さまへのメッセージ

<県内の感染状況>

- 県内の感染状況については、今月下旬に入り連日700人を超える新規感染者が確認されています。
- その中でも、特に注意が必要な高齢者施設や医療施設などにおいて、クラスターの発生が増加しています。70歳以上の高齢者の感染者数も毎日100人前後の水準が続いています。
- こうした中、県の対応を判断する指標として、重要な指標が二つあります。
一つの指標である「最大確保病床の占有率」と、もう一つの指標である「直近7日間の70歳以上の新規感染者数」は、いずれも一つ上のステージである「特別警戒」の基準を超えるという状況に至っています。
- また、全国的な感染急拡大の状況を見ると、本県の感染拡大は、少なくとも来週以降も続いていくことを見通さざるを得ません。

<医療提供体制への影響>

- これまでに例を見ないほどに新規感染者数が増加している状況を受け、特に入院患者の治療や発熱外来、とりわけ小児科における発熱外来が非常にひっ迫しています。
- そして、医療従事者の皆さまへの負担が増しているとの報告を受けることが多くなっています。感染の山を低く抑えることによって、医療従事者の方々への負担軽減を何としても図っていかねばならない局面にあると判断しました。

<県の対応、ステージ引き上げ>

- こうした状況を踏まえ、県の対応ステージを上から3番目の「警戒」から2番目の「特別警戒」に引き上げます。今回の「特別警戒」のステージにおいては、感染力は強いが重症化率は低いという第7波の感染状況を踏まえ、講じる対策の中身について見直しを行いたいと考えています。

- 一番のポイントは、医療提供体制のひっ迫緩和に直接効果のある対策を中心に据えて取り組むことです。具体的には、検査協力医療機関、特に、小児科の部分を充実していくことや、コロナ専用病床の上積みをしていく。そのための入院協力医療機関や、後方支援病院の体制を拡充するとともに、高齢者施設などへの集中的検査を県下全域で行うよう強化していく。こういった中身がメインとなります。

<高齢者など重症化リスクが高い方との接触>

- これに加え、県民の皆さまには、比較的、限定的な行動制限という位置付けになりますが、ご家族などが高齢者施設に入所されている場合、施設に出向いての面会を極力控えていただくよう、ご協力をお願いします。特に、重症化リスクの高い高齢者と接触する機会には、マスクの着用など、十分な感染対策を取っていただくようお願いいたします。

- また、帰省・旅行などで高齢者の方々と接する予定がある場合には、「ワクチンの3回目接種」又は「抗原定性検査等による陰性確認」をした上で、接していただくことを強くお勧めします。

- 高齢者の方々への感染防止対策を徹底していくことは、一つには医療提供体制のひっ迫を防いでいく意味がありますが、もう一つには、皆さまの身近におられる大事な方々を守る行動につながることにあります。今一度、十分な感染防止対策を取っていただくようお願いいたします。

<感染防止対策の徹底や感染した場合の備え>

- 今回の第7波の感染においては、これまでに比べて重症化率が格段に低いという特色を踏まえ、今回の「特別警戒」のステージでは、例えば会食、旅行、イベントなどに関する本格的な行動制限については求めないこととしました。

- しかし、今後は、お盆、夏休みで人の移動が多くなる時期となります。「行動制限をお願いしない」ということは、「感染対策をしなくていい」という意味では全くありません。感染対策をしっかり講じた上で、社会経済活動を行っていくことをお願いします。

そのための具体的な工夫としては、県民の皆さままでワクチンの3回目接種がまだの方や、案内が来ているのに4回目はまだという方については、ワクチン接種を速やかに行っていただくようお願いします。

そして、より大きな安心を確保するという意味では、県も努力して無料検査を拡充していますので、この無料検査を活用していただき、安心して社会経済活動を行うことについて、引き続きお願いいたします。

- これまでの感染急拡大で、県民の皆さまの約17人に1人が感染され、ご自身や家族がいつ感染しても不思議ではない状況になっています。

そのため、自宅療養をお願いする方々も急増していますので、こうした事態に備え、防災面でもお願いしていますが、食料・生活必需品などについて、普段から備蓄していただく努力をお願いします。

- 加えて、県民の皆さま一人ひとりが、できる限り基本的な感染防止対策を徹底するよう、あらためてお願いします。

社会経済活動を縮小する願いは、極力したくない中で、最小限のお願いとして今回、「高齢者施設を訪ねての面会は、極力控えていただきたい」というお願いをしました。

県民の皆さまは、社会経済活動をやめるのではなく、基本的な感染防止対策を行い、ワクチン、検査、こうした武器をしっかり備えていただいた上で、必要な社会経済活動を行っていくスタンスで、今後の夏休み、お盆休みの期間を過ごしていただくよう、お願いいたします。

令和4年7月29日

高知県新型コロナウイルス感染症対策本部長
(知事) 濱田省司